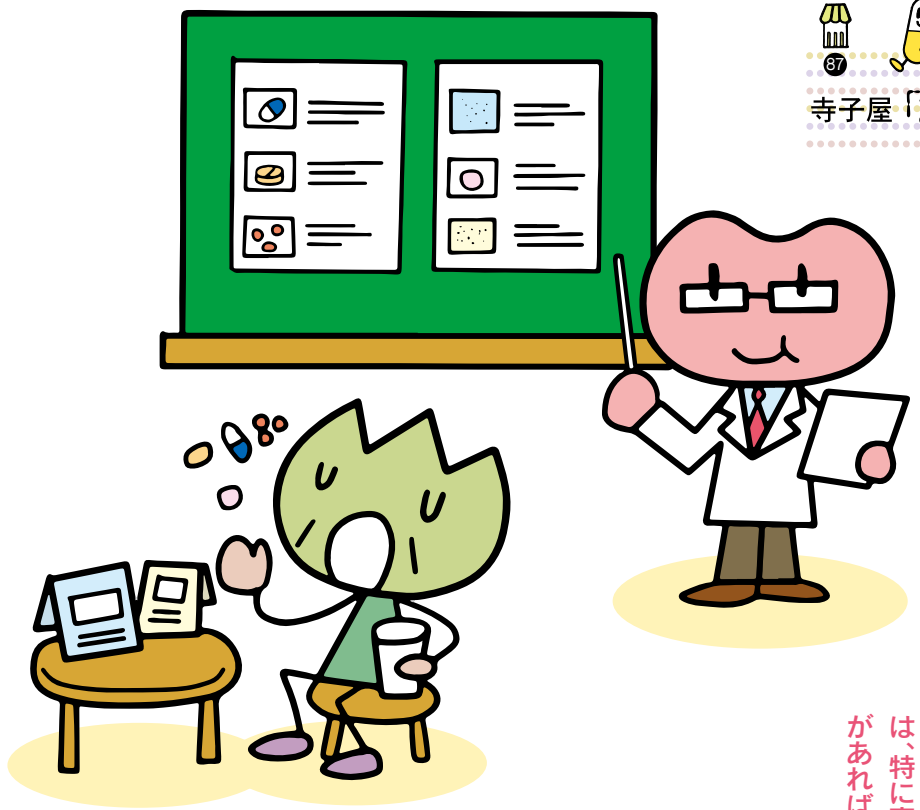


「ポリファーマシー」といふ言葉をどう存じですか？



「ポリファーマシー」とは、日本語に訳すと「多剤併用」となり、狭い意味では、問題のある悪い多剤服用の状態を指して使われる場合もあります。このポリファーマシーは、特に高齢者で発生しやすく、大量に服用している薬の中に害になる物や無駄な物があれば、それを積極的に解消していくことが重要な動きが昨今高まっています。

ポリファーマシーに
なっていくのが

どのような病気であってもそれぞれに、専門医を中心にしたグループ（学会）が作った治療方法のガイドラインがあります。一つの病気での治療薬が2、3種類だとしても複数の病気を抱っていたら当然、必要な薬も増えます。後期高齢者のうち2つ以上の慢性疾患を有する方は7割、5つ以上有する方は2割という調査もあります。仮に肺疾患・糖尿病・高血圧・変形性関節症・骨粗しょう症の5つの慢性疾患にかかっている79歳女性であれば、ガイドライン通りに薬が出た場合12種類にもなります。骨粗しょう症の薬もあるのに、飲む作業だけで骨が折れます。

問題となる
ポリファーマシーの
患者さんの割合

「飲んでいる薬の剤数」と「有害反応が起きている人の割合」をグラフにした場合、さまざま有害反応で、5剤または6剤を超えたところ

で有害反応を起こす人の割合が急激に増えるグラフになります。高齢者の転倒を例に挙げて見てみると、有害反応を起こす人の割合は約2割から4割に増えています。

種類の薬を飲んでいるということは持病も多いわけですから、薬が合っても何らかの反応は出やすいものです。

ここで算数のお話です。多剤服用している患者さんが10人いるとします。有害反応が起きていない妥当な処方の方は6人。薬の数を減らしても有害反応が解消しない方は2人。薬を減らせば有害反応が解消するのは…そう、残りの2人という計算になります。

しかしこれは高齢者の転倒の場合の話ですし、そもそもたたくさんの

薬の数が6種類以上の慢性疾患安定期の患者さんのうち、薬を減らした方が良い「割合」は少ないのですが、そもそも65歳以上の人口は3380万人以上ですので、薬を減らした方が良い「人数」となると数十万人と考えられます。

例えば、お腹の具合が悪くて途中から追加して飲んでいる整腸剤。もう

整腸剤が必要な病気が治っているかもしれません。血管が詰まったり破れたりするのを予防する高脂血症の薬を、余命の短い超高齢の患者さんが服用している場合、発作を起こす前に寿命がくるかもしれません。だからといって飲んでる薬をやみくもに減らして数日後に突然、何かが起こっては元も子もありません。高齢者の場合、特に慎重に使わなければいけない薬物のリスト・開始を考慮すべき薬物のリストが、日本老年医学会で策定した「安全な薬物療法ガイドライン」にあり、この全面改定が2015年に行われました。

しかし、まだまだ十分に浸透していないのが現状のようです。薬が多いままの理由として、良くなくてほしいという医療者側の思いもあります。それだけでなく薬を飲んでいけば安心という患者さん側の思いもあるでしょう。全員に「薬を減らしましょう」とアドバイスはできないと思いますが、一緒に考えていきましょう。まずは、お気軽にご自分の「かかりつけ薬剤師」にご相談ください。春になって暖かくなってきました。どうぞお健やかに過ごしてください。（由利調剤薬局 菅原崇義）

認定かかりつけ基準薬局リスト

大曲・仙北支部	
大曲調剤薬局	☎0187-66-2688 ㊟66-2918
厚生調剤薬局	☎0187-73-6345 ㊟73-5123
こまち調剤薬局	☎0187-86-0363 ㊟86-0364
こまち調剤薬局太田店	☎0187-86-9070 ㊟86-9071
こまち薬局福田店	☎0187-66-3332 ㊟66-3339
下山サカ工業局	☎0187-62-5110 ㊟62-6431
じんだい調剤薬局	☎0187-52-4614 ㊟52-4615
中仙薬局	☎0187-56-7511 ㊟56-7512
成田漢方堂薬局	☎0187-43-0010 ㊟43-1100
ヒカリ薬局	☎0187-86-5450 ㊟86-5460
日の出調剤薬局	☎0187-69-2300 ㊟69-2300
松田薬局	☎018-892-3051 ㊟892-3480
六郷さいた薬局	☎0187-84-2825 ㊟84-2820
横手支部	
青山薬局	☎0182-42-4003 ㊟42-0750
池田薬局 横手店	☎0182-23-5191 ㊟23-5192
鍛冶町さいた薬局	☎0182-33-1751 ㊟33-1752
さいた薬局	☎0182-33-4814 ㊟33-1273
さいた薬局 よこて町店	☎0182-33-6662 ㊟33-0202
薬局エム	☎0182-55-1231 ㊟55-1232
ヤナギ薬局	☎0182-22-3013 ㊟22-4200
湯沢・雄勝支部	
東成瀬調剤薬局	☎0182-47-2105 ㊟47-2106

地域の皆様のために新しく作られた「認定かかりつけ基準薬局」です



処方せんの有効期限は
処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会
秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp